



二川宿まち並み通信

第34号 令和6年4月1日
発行：‘二川宿’まちづくり会
大岩町東まちづくり会
大岩中まちづくり会
協力：豊橋市都市計画課

祝

「西駒屋」景観重要建造物に指定！



● 西駒屋の全景

◆ 建物の概要

明治後期から近年まで醸造業を営んできた建物で、現在は住まいとして使われています。旧東海道に面する主屋は、二川宿のまち並みの特徴である切妻平入の外観で、深い軒の出と窓の格子が趣のある陰影を生みだしています。

主屋の横には門と離れ兼倉庫が連なり、対面する二川宿本陣、旧旅籠屋「清明屋」とともに、二川宿の中でも随一の歴史的景観を創り出しています。＜ 国登録有形文化財 ＞

● 所有者の田村さんの思い

何世代も前から二川宿に暮らし、醸造業を営んできました。先祖から引き継いだ建物が、二川宿本陣と同じように景観重要建造物に指定されたことを大変誇りに思います。

これからも二川宿の財産として、大切に保全していきたいと思っています。



山本会長



小杉会長



横田会長

‘二川宿’
まちづくり会

大岩町東
まちづくり会

大岩中
まちづくり会

◆ 景観重要建造物とは

歴史・文化的な価値や学術的な価値の高さを問うものではなく、地域の良好な景観形成の核として、その保全と継承を図る観点から指定するものです。

有識者等の意見を聴きながら、市長が景観法に基づき指定します。



▲ 景観重要建造物の銘板

■ 同時に指定された 豊橋市民俗資料収蔵室（旧多米小学校校舎）



● 全景：左が西棟、右が本棟

◆ 建物の概要

豊橋に唯一残る小学校の木造校舎で、現在は市の民俗資料収蔵室として使用されています。本棟は昭和19年に建築され、西棟は昭和29年に増築されたものです。

里山を背景にして建つ木造瓦葺きの伸びやかな校舎は、昭和の懐かしい小学校の姿を今に伝えています。

＜ 国登録有形文化財 ＞

◆ピックアップ 二川宿への思いを聴く

子どもたちが住みたいと思える二川宿にしたい！

～ 未来の二川を育むため、思い出に残る取り組みにチャレンジ ～

“まちづくりの種まき”を楽しく進める菰田直子さん



宿場町の歴史を活かしたまちづくりが進む二川宿。まち並み景観づくりは進んできましたが、歴史的な建物が年々減少するなど課題があります。

そうした中、まちづくり会でアンケートを進めると、熱い思いを持った人たちがいることが分かってきました。

今回は、空き家となった実家の活用などに取り組むコモダガスの菰田直子さんに、その取り組みや思いについて伺いました。

● 活動のきっかけは？

★ わたしは二川宿で左官業を営む家で生まれ育って、このまちや家にいろんな思い出があります。子供のころ友達の家に行くと、奥深い通路や見たこともない天窓を発見し、探検家気分でわくわくした思い出があります。今、実家は空き家ですが、土壁の温かさなど、歴史ある家の良さに大人になって気づきました。そうした思い出や本物の良さに気づいたことが、活動のきっかけです。

● 昨年、実家がアートの会場になりましたね！

★ 実家をなんとか残したいと思っていた時、二川宿でアートイベントを考えていた作家さんがとても興味をもってくれました。古くて傷んでいる建物ですが「このままアートの場として使いたい！」とお話があり、使ってもらうことにしました。アートイベントでは、作品と建物の空間が一体となって、ステキな体験をしてもらえたと思います。

● 実家を活用した今後の取り組みは？

★ 今のところ具体的な計画はないですが、灯籠まつりなどのイベントにあわせてお店を出し、みんなに楽しい思い出をつくってもらえるのもいいかなと思います。家は生き物と考えて経年変化を楽しみながら何かやるのもありかなと思います。人が入った方が建物は喜ぶと感るので、色々活用を考えていきます。

● 他にやってみたいことは？

★ 古い建物をもつ住民が集まって、世間話や情報交換ができると楽しいかなと思います。灯籠まつりの時に、うちのガス店の一角でやっていたかき氷屋も復活したいし、仲間を募って新たなお店もやりたいなと思い巡らせています。

● 二川宿のまちづくりへの思いは？

★ 上の世代からしてもらったことを、下の世代にして恩返しできたらと思っています。小学校で読み聞かせをすると、校外でも子供たちが声をかけてくれて嬉しいし、二川は昔から顔がわかるまちなので、これからも世代を問わず顔がわかるまちだといい。二川の子供たちがこのまちに住みたい、住んでよかったと思えるまちにしたいと思います。小さな一歩でも前に進めば、将来につながると思うので、できることを少しずつ取り組んでいきたいです。



▲ 大正時代建築の菰田さんの実家
作家さんの提案で、「みんなの思いが交わる場」と「番地」を組み合わせ、
“ futagawa cross-point155 ”と命名



● 昨年のアートイベントの様子
芸術家グループ「Lamp」が味わい
ある空間を活かしてアートを展開

◆ 景観整備進む！ 落ち着いた色彩で調和を図る



▲ 景観整備した農機具店

● お施主の山本さんの思い

近所でも、市の助成金を活用して改修した建物が増えたので、今回、外壁の改修に合わせて、歴史的な雰囲気合った色彩にしました。

二川宿の景観の向上に少しでも貢献できて嬉しいです。



▲ 映えスポットのコモダガス周辺： 灯籠で飾ろう二川宿の風景